

10

国際海上コンテナターミナル整備(横浜港南本牧ふ頭地区)

我が国における国際競争力の強化

現在 now



将来 future

インフラ



- コンテナターミナル整備
- 臨港道路の整備



国際競争力強化

- ◇コンテナターミナル新設による年間輸送コスト削減：226億円
- ◇海外トランシップ回避による年間輸送コスト削減：47億円

〈利用者の声(陸運事業者)〉

コンテナ物流は定時制を守ることが重要であるため、スムーズな埠頭間輸送、内陸部への輸送が実現できるよう臨海部に新たな道路を整備してほしい。

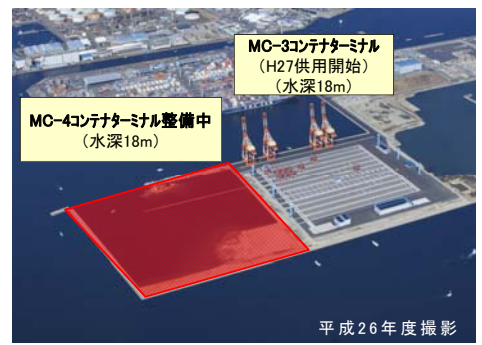
平成32年  
完成予定

地域

【南本牧ふ頭発着の車両の方面別比率】



資料:交通量調査結果(横浜市港湾局、平成23年11月17日)



【ふ頭間の輸送時間短縮】



3ふ頭がつながることで、各ふ頭間の貨物輸送の効率化や内陸の高速道路とのアクセス性が向上

基幹航路の維持・拡大、広域交通網と横浜港のアクセス改善を通じて、企業の立地環境が向上⇒雇用と所得の維持・創出

MAP

